

# 自分らしく成長するために

子どもの発達に心配があった時に、その子の自立を促し、自分らしく成長していくお手伝いをする取組みがあります。今回は、就学前の子どもが通う「<sup>※6</sup>児童発達支援施設」と小学生から高校生までが通う「放課後等デイサービス」を紹介します。

## インタビュー

児童発達支援施設である「こはるび学園」は、小学校入学前のお子さんに対し、生活に必要な力を育てるお手伝いをしています。

子どもを理解する大切な時期「当学園では、『毎日楽しく、明るく』を大切にしながら、一人ひとりのお子さんに寄り添った活動をしています。幼稚園や保育園などに通いながら、週に何日かをこの学園で過ごすお子さんいます。」と、池田理事長。

こはるび学園では、幼稚園・保育園・家庭と相互に連携して、子どもの療育に取り組んでいます。「子どもたちには、学園で色々なことを経験し、できることを増やしてほしいと思います。」と、話すのは、主に相談事業を担当する上垣先生。

小学生になっても「こはるび学園は、小学校入学前までしか通えませんが、相談事業は18歳まで利用することができます。」と、上垣先生は言います。

「お子さんの成長に不安や戸惑いを強く感じている方もいらっしゃると思いますが、職員とのやりとりをする中で少しずつお子さんのことを理解し、お子さんの成長を共に喜び合える関係をつくっていきたいと思います。」と、上垣先生は言います。

「子どもは、小学校入学までの時間がとても大切です。この大切な時期に、子どもを理解することで、小学校の先生とのやりとりやこれからのお子さんの生きていく道筋を保護者の皆さんが考えられるようになります。」と語る池田理事長。お子さんを「かわいい」と思いながら子育てしてほしいとも話されました。

「この方法は、全ての子どもにも有効な方法です。『早くしなさい!』と大人が子どもに注意することがありますが、絵などで何時に何をすると、子どもが自ら行動しやすくなります。」と石飛さん。トゥモローランドでは、こういった工夫を家庭や学校に伝えるとともに連携し、子どもたちが過ごしやすい環境づくりに努めています。

## インタビュー

トゥモローランドでは、子どもたちが自立した家庭・学校生活を送るための支援を行っています。

### 家庭と学校と連携

「『発達に凸凹がある』、『発達障がある』と聞くと、何か特別なことが必要なのではないかと身構えてしまっている方もいますが、発達に凸凹があってもなくても子どもが育つに大きな違いはありません。発達についての理解と少しの工夫があれば、できることはたくさんあります。」と話すのは、トゥモローランドの石飛さん。

トゥモローランドには、予定や約束等が目で見えて理解できるように分かりやすく絵で示されています。

トウモローランドの子どもたちは、突発的な出来事への対応や場の雰囲気など、目に見えないものを感じ取るこ

「少しの工夫とともにもう一つ、大切なことは、どんな些細なことでも褒めることです。」と話す石飛さん。発達に凸凹がある子どもや発達障がいの子どものためには、苦手なことが少し多い

### 褒めて、認める

め、周りから注意され、否定されることで、自尊心が傷つき、自己肯定感をすり減らしてしまいます。『できて当たり前前』という、大人の物差しで判断するのではなく、子どもの発達段階や障がいの特性を理解して、子どもたちの少しの『できた!』を褒めて、認めることが大切です。」と話されました。

トゥモローランドスタッフの皆さん



(社福)一燈会 放課後デイサービス  
トゥモローランド  
児童発達支援管理責任者  
石飛 信彦さん(上延沢)

○放課後デイサービス トゥモローランド  
住所: 開成町吉田島 4352-3 ザ・開成プレイス 3F  
☎ 85-1122

○放課後デイサービス トゥモローランド開成みなみ  
住所: 開成町みなみ5丁目6-15  
☎ 85-1555



NPO法人こどもの広場  
こはるび学園 理事長  
池田 雅子さん

NPO法人こどもの広場  
障害児相談事業所 こはるび  
特定相談所 こはるび  
相談支援専門員・社会福祉士  
精神保健福祉士  
上垣 まり子さん

こはるび学園  
住所: 小田原市栢山592-2  
リバーサイドハイツ105号室  
☎ 43-6388

### ことば

※6 「児童発達支援施設」  
児童発達支援とは、心身の成長や発達に心配のある子どもが日常生活や社会生活をスムーズにするための支援活動のことです。施設の利用にあたっては、町福祉課にご相談ください。

「児童発達支援施設」や「放課後等デイサービス」の利用には、様々なお手続きが必要です。福祉課では、事務担当のほか、社会福祉士を配置しています。ご不明な点は気軽にご相談ください。

福祉課 ☎84-0316

## 参加者の声

### トゥモローランド

同じく通所する年上の子どもたちと接することで、ルールを守れるようになり、社会性が伸びました。放課後に子どもが過ごせる場所があると、私自身にも時間や心の余裕が持てるようになりました。

40代女性



スケジュールなどを写真や絵で具体的に示している。